

日本共産党野洲市議団が切実な願い実現へ

08年度野洲市 予算要望書(130項目)を提出しました



日本共産党野洲市議団(小菅六雄・野並享子市議)が16日、山崎市長(要望書は川尻副市長に提出)に、市民の切実な要求を来年度市予算に反映するよう130項目の要望書を提出しました。また、後期高齢者医療制度の中止を県後期高齢者医療広域連合議員(同連合議会議長)でもある市長に申し入れました。日本共産党市議団は実現に向けがんばります。

なお、市長に対する、主な要望は以下の通りです。

川尻副市長に要望書を提出する日本共産党市議団(16日)

滋賀県広域連合の保険料
月額 6080円

広域連合議員(議長)の山崎市長に対して

後期高齢者医療制度の中止を求めました

来年4月から後期高齢者医療制度が実施されようとしていますが、滋賀県後期高齢者広域連合が明らかにした保険料は月額6080円(年間72960円)にもなります。同制度は、75歳以上高齢者の医療保険を別立てにし、際限ない医療負担を強いるものです。しかも、払いたくても払えない人には容赦なく保険証を取り上げます。こんな重大な問題がありながら、26日に同広域連合が保険料など正式決定しようとしています。

日本共産党市議団は、広域連合議会の議員である山崎市長に対して、政府に同制度実施の中止の意見を主張すること。また、実施となれば、資格証明書の交付はしないこと。保険料は所得割で行うこと。保険料や医療費の減額免除を実施するなど、同制度の見直し検討を行うよう申し入れました。

- 介護保険料・利用料を減額免除できる独自の条例を制定されること。
- 中主学区、祇王学区、野洲学区に保育所を増設されること。
- 高い国民健康保険税の引き下げ。資格証明書や短期保険証発行をやめられること。
- 中学校卒業まで通院の医療費も無料にされること。
- 野洲病院の小児科日曜日診療の復活を求められること。野洲病院の産婦人科医の二人体制を存続されること。
- 妊婦検診を年5回以上、助成されること。
- 小中学校の30人学級を実施されること。
- 障害児学校の寄宿舎の福祉的機能や教育的機能を堅持し、県が進めている縮小・廃止に反対されること。
- 就学援助の所得制限を生活保護基準の1・5倍にされること。
- 防犯灯の電気代は行政負担とされること。
- 地下水保全条例を制定されること。
- びわ湖の環境保全のため、農業排水の浄化対策を行なうこと。
- 新卒者などを、正社員として雇用するよう企業に働きかけること。中小企業に対し、雇用対策緊急支援制度などの対策を行い、若者に働く場所を確保されること。
- 小口簡易資金の窓口は自治体が行う原則を堅持し、限度額は1500万円まで引き上げられること。
- 大事なことはみんなで決めるための、「住民投票条例」を早期に制定されること。
- 中小農家を対象から外す「品目横断的経営安定対策」を見直し、農業を続けたい農家のすべてを対象にされること。
- 「小規模改善工事登録者制度」と「住宅リフォーム補助制度」を創設されること。
- 同和行政は終結し、同和地域に限定した施策は止めること。

予算要望では、安心・安全のまちづくりのため、市内で信号機の設置、歩道整備、道路や河川の改修など40箇所について早期に改修と対策を行うよう求めました。実現へがんばります。(提出した要望は、後日、市と交渉を行い、詳細をお知らせします)



12月定例市議会(12月4日~21日)

12月定例市議会は、12月4日から21日まで開催されます。ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2007年11月25日 133

暮らしのご相談・要望
お寄せください

市会議員 小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
 (メール) shgdy177@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~kosuga/

市会議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
 (メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~nonami/